

# 予防接種の種類と受ける時期（令和8年度）

種類		受ける時期	間隔・回数	料金
定期 予防 接種	妊婦	R S ウイルス	妊娠28週0日から36週6日まで	妊娠ごとに1回
	小児	ロタウイルス	<ロタリックス：1価> 生後6週0日～24週0日 ◆初回接種開始は、生後14週6日までに行うことが望ましい。	27日以上の間隔をあけて2回
			<ロタテック：5価> 生後6週0日～32週0日 ◆初回接種開始は、生後14週6日までに行うことが望ましい。	27日以上の間隔をあけて3回
		5種混合 ジフテリア 百日咳 破傷風 ポリオ ヒブ	1期初回（1～3回目）：生後2か月以上7歳6か月未満 ◆初回接種開始は生後2か月から7か月未満が望ましい	20日以上の間隔で 3回 ※標準的には20日から56日までの間隔をおく。
			1期追加：生後2か月以上7歳6か月未満 ◆初回接種終了後から6か月から18か月までの間隔が望ましい	1期3回目終了後6か月以上の間隔を置いて 1回 ※標準的には6か月から18か月までの間隔をおく。
			2期：11歳以上13歳未満（小学6年生が望ましい） ◆DT2種混合（ジフテリア・破傷風）ワクチンを接種します	1回
			【これまでに「4種混合+ヒブ」で接種していた方へ】 4種混合の販売終了に伴い、代わりに「3種混合+不活化ポリオ+ヒブ」もしくは「5種混合」で残りの接種を行います。接種状況により使用ワクチンが異なりますので、詳細はかかりつけ医にご相談ください。	
		小児用肺炎球菌	初回免疫（1～3回目）：生後2か月以上5歳未満 ◆初回接種開始は生後2か月以上7か月未満が望ましい	27日以上の間隔で 3回 ※ 生後12か月を超えて2回目を接種した場合は3回目は行わない
			追加免疫：1歳以上5歳未満 ◆1歳以上1歳3か月未満が望ましい	初回免疫終了後60日以上の間隔を置いて 1歳になってから 1回
		B型肝炎	1歳未満	3回 ①（標準的には）生後2ヶ月以降 ② 1回目の接種から27日目を以降 ③ 1回目の接種から139日目を以降
		BCG	1歳未満 ◆5か月以上8か月未満が望ましい	1回
		MR2種混合 麻しん 風しん	1期：1歳以上2歳未満	1回
			2期：5歳以上7歳未満で小学校入学前1年間	1回 令和8年度対象者：R2.4.2～R3.4.1生 実施期間：R8.4.1～R9.3.31
※特例対象者：令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれ（1期）および平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ（2期）の方は、令和6年度の定期接種期間にできなかった分の接種を令和9年3月31日まで無料で受けることができます。				
日本脳炎	1期（1～2回目）：生後6か月以上7歳6か月未満 ◆3歳以上4歳未満が望ましい	6日以上の間隔で 2回		
	1期追加：生後6か月以上7歳6か月未満 ◆1期2回目終了後おおむね1年の間隔で、5歳未満が望ましい	1期2回目終了後6か月以上の間隔で 1回		
	2期：9歳以上13歳未満 ◆小学4年生が望ましい	1回 ※1期追加終了後、4～5年あけることが望ましい		
	※特例対象者：平成18年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた方は、20歳未満であれば済んでいない分の回数を無料で受けることができます。			
HPV (子宮頸がん 予防ワクチン)	1～3回目： 小学6年生～高校1年生に相当する年齢の女子 ◆中学1年生が望ましい	◆小6～14歳 2回 ①初回接種 ②初回接種から6か月後 ◆15歳以上 3回 ①初回接種 ②初回接種から2か月後 ③初回接種から6か月後		
水痘 (水ぼうそう)	1歳以上3歳未満 ◆1回目は1歳以上1歳3か月未満が望ましい	2回（3か月以上の間隔で） ※ 2回目は1回目終了後6か月以上12か月未満の間隔をあけることが望ましい		
任意 接種 予防	流行性 耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1期：1歳以上2歳未満	1回	
		2期：5歳以上7歳未満で小学校入学前1年間	1回 令和8年度対象者：R2.4.2～R3.4.1生 実施期間：R8.4.1～R9.3.31	

無  
料

1回  
2,600円

※上記の予防接種は、すべて通年にわたって接種できます。ご不明な点は医療機関または地域医療政策課までお問合せ下さい。  
※各健診や予防接種の際は必ず、母子健康手帳と予防接種手帳をお持ち下さい。